

平成30年度
国民保護に係る訓練の成果等について

内閣官房副長官補（事態対処・危機管理担当）付

1. 平成30年度 国民保護共同訓練の実施状況

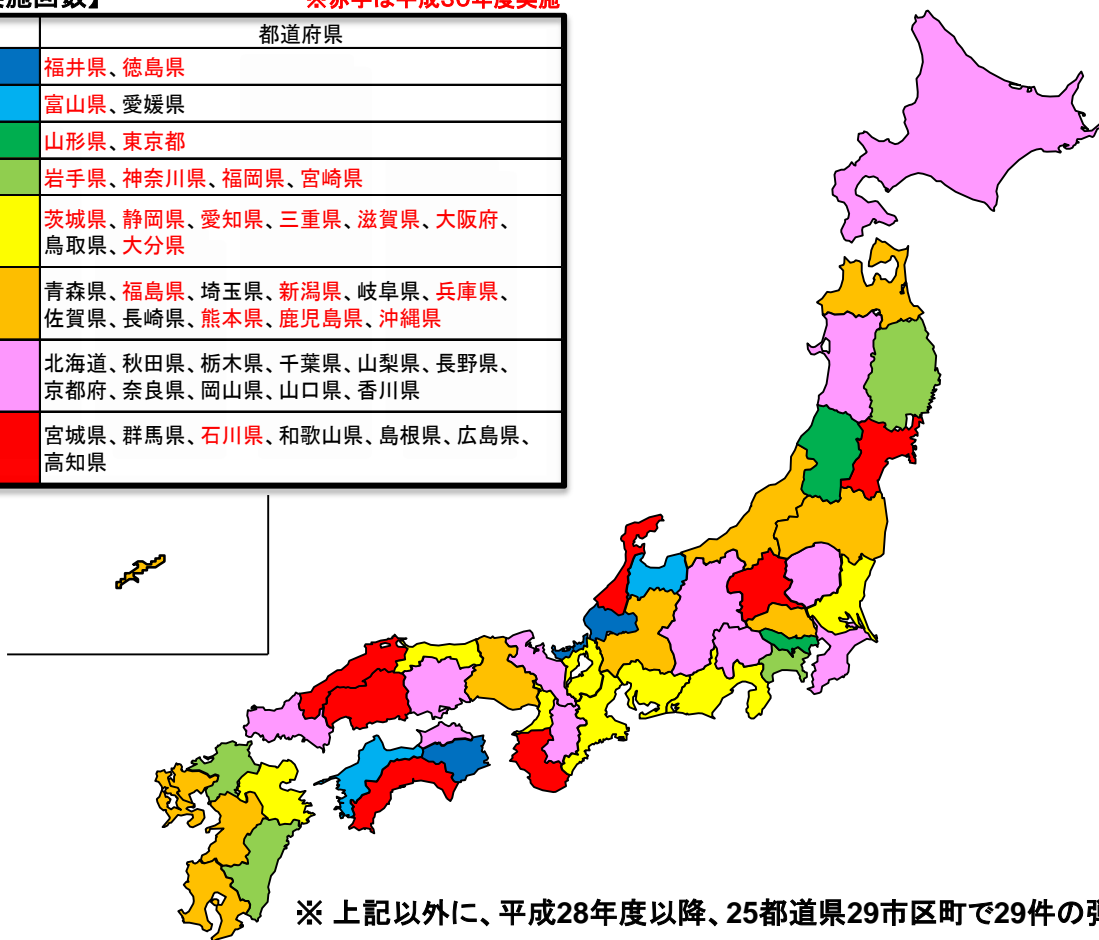
(1) 都道府県別・国民保護共同訓練の実施状況 (平成30年度末実績)

国民保護法に基づき、関係機関の機能確認及び相互の連携強化を行うとともに、国民の保護のための措置に対する国民の理解の促進を目的として、国、地方公共団体、その他関係機関及び地域住民が一体となった共同の実動訓練及び図上訓練を実施。

【訓練実施回数】

※赤字は平成30年度実施

回数	都道府県
12回	福井県、徳島県
9回	富山県、愛媛県
7回	山形県、東京都
6回	岩手県、神奈川県、福岡県、宮崎県
5回	茨城県、静岡県、愛知県、三重県、滋賀県、大阪府、鳥取県、大分県
4回	青森県、福島県、埼玉県、新潟県、岐阜県、兵庫県、佐賀県、長崎県、熊本県、鹿児島県、沖縄県
3回	北海道、秋田県、栃木県、千葉県、山梨県、長野県、京都府、奈良県、岡山県、山口県、香川県
2回	宮城県、群馬県、石川県、和歌山県、島根県、広島県、高知県



【年度ごとの訓練実施状況】

年度	区分	都道府県数	計
H17	実動	1	5
	図上	4	
H18	実動	3	11
	図上	8	
H19	実動	5	15
	図上	10	
H20	実動	4	18
	図上	14	
H21	実動	4	14
	図上	10	
H22	実動	3	10
	図上	7	
H23	実動	3	12
	図上	9	
H24	実動	6	11
	図上	5	
H25	実動	3	12
	図上	9	
H26	実動	4	13
	図上	9	
H27	実動	3	15
	図上	12	
H28	実動	4	22
	図上	18	
H29	実動	5	29
	図上	23	
	実動・図上	1	
H30	実動	9	24
	図上	12	
	実動・図上	3	

(延べ211都道府県)

※ 上記以外に、平成28年度以降、25都道県29市区町で29件の弾道ミサイルを想定した住民避難訓練を実施 (平成30年6月以降、当面見合わせ)

1. 平成30年度 国民保護共同訓練の実施状況

(2) 訓練実施概要

- ◇ 共同訓練（国と地方公共団体が共同して行う訓練）を24回実施した。（実動訓練9回、図上訓練12回、実動・図上訓練3回）
- ◇ 共同訓練以外にも、
地方公共団体単独での訓練が41回実施された。
（実動訓練20回、図上訓練21回）

1. 平成30年度 国民保護共同訓練の実施状況

(3) 訓練の実施状況 ①

黄着色は国重点訓練

年月日	都道府県	区分	実績(回数)	シナリオ概要	攻撃傾型	対象施設等	参加機関数	参加人数
2018年9月26日	大分県	実動及び図上	5	<ul style="list-style-type: none"> 別府市実相寺中央公園で爆破事案 別府駅で爆発物発見 大分銀行ドームで化学剤散布事案（図上訓練のみ） 	C、Eテロ	大規模集客施設 駅	51	482
2018年10月31日	富山県	実動	9	<ul style="list-style-type: none"> 南砺市福野体育館周辺での国際テロ組織による化学薬剤散布及び立てこもり事案 	Cテロ	大規模集客施設	39	431
2018年11月15日	山形県	図上	7	<ul style="list-style-type: none"> JR新庄駅隣接施設で爆破事案 市民文化会館に爆発物を所持し立てこもり 	Eテロ	大規模集客施設	47	193
2018年11月20日	東京都	実動	7	<ul style="list-style-type: none"> シンボルプロムナード公園で、化学剤散布事案発生 爆破予告、不審物の発見（豊洲地区） 	Cテロ	商業施設	10	349
2018年11月20日	静岡県	図上	5	<ul style="list-style-type: none"> 伊豆ペロドロームで爆破事案発生 テロ集団による修善寺駅近辺の爆破予告・不審物発見（複数箇所） 武装グループによる人質・立てこもり事案の発生 	Eテロ	大規模集客施設 駅	39	276
2018年11月21日	大阪府	実動	4	<ul style="list-style-type: none"> 花園ラグビー場バックスタンドで化学剤事案 ラグビー場に向かう遊歩道で爆破事案 ラグビー場に向かう遊歩道に爆発物設置 	C、Eテロ	大規模集客施設	21	496
2018年11月30日	福岡県	図上	6	<ul style="list-style-type: none"> 博多の森球技場において爆発事案が発生し、多数の死傷者が発生 ラグビーWCのパブリックビューイングを開催中の博多駅で爆発物と思われる不審物が発見される。 	Eテロ	大規模集客施設 駅	74	125
2018年12月19日	茨城県	図上	5	<ul style="list-style-type: none"> いきいき茨城ゆめ国体及び関連イベント等を実施する県内の主要施設における爆破テロ発生 その後近隣商業施設でテログループの立てこもり事案 	Eテロ	大規模集客施設 商業施設	86	252

1. 平成30年度 国民保護共同訓練の実施状況

(3) 訓練の実施状況 ②

黄着色は国重点訓練

年月日	都道府県	区分	実績(回数)	シナリオ概要	攻撃傾型	対象施設等	参加機関数	参加人数
2018年12月26日	鹿児島県	図上	4	<ul style="list-style-type: none"> 鹿児島アリーナで爆破事案 鹿児島中央駅地下通路で化学剤散布 桜島フェリー鹿児島港で立てこもり事案 	C、Eテロ	大規模集客施設 港	66	250
2019年1月9日	福井県	図上	12	<ul style="list-style-type: none"> 越前町道の駅「越前」において、一般人の車両が複数台盗難され、付近の海岸で不審な木造船発見 越前陶芸村文化交流会館の施設内で、化学剤散布事案発生 鯖江市西山公園でテログループが銃乱射、道の駅「西山公園」に立てこもり 	Cテロ	商業施設 大規模集客施設	49	229
2019年1月11日	愛知県	実動	5	<ul style="list-style-type: none"> 豊田スタジアムで爆破事案が発生 スタジアム内に爆発物設置 	Eテロ	大規模集客施設	61	1,500
2019年1月15日	岩手県	実動	6	<ul style="list-style-type: none"> ラグビーワールドカップで使用するスタジアムでの化学剤（サリン）散布及び同施設駐車場で爆発事案を想定 	C、Eテロ	大規模集客施設	40	900
2019年1月22日	三重県	図上	5	<ul style="list-style-type: none"> 桑名駅において爆破物使用のテロが発生 六華苑においてテログループによる立てこもりが発生 	Eテロ	駅 大規模集客施設	55	230
2019年1月24日	新潟県	図上	4	<ul style="list-style-type: none"> 上越市 上越妙高駅ホームで爆発事案発生 新潟市 新潟駅で列車爆破事案発生 朱鷺メッセ（イベント開催中）で不審物発見 	Eテロ	駅 大規模集客施設	61	288
2019年1月25日	沖縄県	実動及び図上	4	<ul style="list-style-type: none"> 那覇市内で化学剤散布事案 那覇市内博物館にたてこもり 	Cテロ	商業施設 大規模集客施設	63	550
2019年1月30日	滋賀県	図上	5	<ul style="list-style-type: none"> ホール内でサリン（4kg）が散布され、死傷者約300名。 周辺を警戒していたところ、駅前の不審車両から爆発物（80kg）を発見 	Cテロ	大規模集客施設 駅	35	195

1. 平成30年度 国民保護共同訓練の実施状況

(3) 訓練の実施状況 ③

黄着色は国重点訓練

年月日	都道府県	区分	実績(回数)	シナリオ概要	攻撃傾型	対象施設等	参加機関数	参加人数
2019年1月31日	宮崎県	実動	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR宮崎駅で不審物発見事案 ・ イオンモール宮崎で爆発事案 ・ コテージヒムカで立てこもり事案 	Eテロ	駅 商業施設	56	575
2019年2月1日	熊本県	図上	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ JR熊本駅構内での大規模爆破事案 ・ えがお健康スタジアムにおける化学剤散布事案 ・ 水前寺公園参道に爆発物設置 	C、Eテロ	駅 大規模集客施設	23	240
2019年2月5日	大阪府	実動	5	<ul style="list-style-type: none"> ・ G20サミットを想定した、大阪国際見本市会場（インテックス大阪）及びその周辺空地での化学剤散布事案、不審物発見事案 	Cテロ	大規模集客施設	27	550
2019年2月8日	福島県	図上	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県営あづま球場内で爆発事案により、多数の死傷者発生 ・ とうほう・みんなの文化センターで不審物発見 	Eテロ	大規模集客施設	83	187
2019年2月13日	石川県	図上	2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 小松市民センターで爆破事案 ・ 小松駅構内で爆発物発見 	Eテロ	大規模集客施設 駅	46	199
2019年2月17日	兵庫県	実動及び図上	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地下鉄御崎公園駅にて爆破予告及び不審物発見 ・ ノエビアスタジアム第1ゲートで化学剤散布 	Cテロ	駅 大規模集客施設	154	1,165
2019年2月24日	徳島県	実動	12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 徳島阿波おどり空港到着ロビーにおける爆発事案発生 ・ その後犯人が逃走し、松茂町内の教育施設に立てこもり。 	Eテロ	空港 学校	29	391
2019年3月9日	神奈川県	実動	6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 東京オリンピックの野球大会当日、横浜スタジアムにおいて国際犯行グループが乗った大型トラックが暴走、爆発事案が発生 ・ 犯行グループが乗船してきたとみられる大型旅客船内で爆破事案が発生 ・ 湘南台駅にて、神経剤散布事案が発生 	C、Eテロ	大規模集客施設 駅	66	1,257

※ 大阪府は大阪市（H30.11.21）と東大阪市（H31.2.5）において、別想定で実動訓練を実施。

1. 平成30年度 国民保護共同訓練の実施状況

(4) 訓練全体を通じた総括

- 国、都道府県、市町村及び関係機関が共同で訓練を実施し、緊急対応事態における、初動対応の要領、情報連絡や調整の要領などの確認・検証等を実施した。
- それぞれの訓練において、想定した訓練項目は実行され、おおむね所期の訓練目的は果たされた。
- 訓練全体を通して、初動対応の要領、情報共有や連携した活動の重要性が改めて確認及び認識された。
- 訓練に参加した機関において、国民保護事案における必要な手順を改めて確認できた。
- 大規模な訓練を行うことで、一定の啓発効果があり、理解が深まった。

1. 平成30年度 国民保護共同訓練の実施状況

(5) 国民保護共同訓練実施における留意事項①

1. 訓練の内容・手法に係る留意事項

◇ ブラインド要素を広げた訓練の推進

ブラインド要素を取り入れ、訓練参加者に主体的に考えさせる部分を増やすなど、訓練のレベルを引き上げていくことが重要。

また、合同対策協議会に参加する各省庁の訓練内容についても、ブラインド要素を取り入れるなど、訓練のレベルを上げていくことが重要。

◇ 危機管理部局以外の職員の参加

訓練参加者を危機管理部局以外に広げ、より多くの部局間、機関間における調整・連携について訓練を積み重ねていくことが重要。

◇ 実践的な訓練の推進

例えば、警報や避難の指示等についてどのような手段で住民に周知するのか、収集した情報について報道にどのように情報提供するかなど、現場の情報の収集や整理にとどまらない部分について、より実践的な訓練を実施していくことが重要。

1. 平成30年度 国民保護共同訓練の実施状況

(5) 今年度の国民保護共同訓練実施における留意事項②

2. 訓練の準備等に係る留意事項

◇ 訓練に向けた準備の徹底

訓練参加者が訓練中に用語や動きを確認する様子も見受けられることから、訓練内容の事前確認やプレ訓練の実施等、訓練に至る準備を徹底することが重要。

◇ 実際の事案を想定したシナリオの準備

東京オリンピック・パラリンピック及びラグビーワールドカップ等の大規模イベントにおけるテロ対処訓練にあっては、実際に使用される会場や観客の状況、組織委員会との連携など、実事案を想定した訓練シナリオを準備することが重要。

◇ 参加機関の拡大と連携強化

警察、消防、自衛隊といった行政機関のみならず、収容施設の施設管理者や警備会社、輸送機関、医療関係機関など各分野の参加を広げるとともに、各機関間の連携強化が重要。

2. 弾道ミサイルを想定した住民避難訓練について

○ 目的

昨今のわが国をとり巻く厳しい安全保障環境を踏まえ、弾道ミサイルが発射され万が一我が国に落下する可能性がある場合における情報伝達方式やその内容及び避難行動などを周知するため、平成29年3月17日に秋田県男鹿市で実施したのを最初に、国と地方公共団体の共同で「弾道ミサイルを想定した住民避難訓練」を実施。

○ 実施事項

住民等が、防災行政無線や携帯電話等による情報伝達を受け、屋内、地下等への避難を実施、屋内や地下等への避難が間に合わない場合は、その場で身を守る措置等を実施。

○ 実施状況

平成30年度末までに、国、都道府県及び市区町村の共同で25都道府県29市区町29件の訓練を実施。地方単独の訓練をあわせ、45都道府県181市区町村464件の訓練を実施。

大都市での訓練（東京都、仙台市、広島市、北九州市、福岡市等）、地下への避難訓練（富山県、東京都、福岡市）、携帯電話への緊急速報メールの送信を取り入れた訓練（青森県、福岡市）等を実施。

※ 平成29年6月以降は当面見合わせ。

2. 弾道ミサイルを想定した住民避難訓練について【実施状況】

(平成31年3月31日現在)

○地方公共団体単独の訓練を含め45都道府県181市区町村で464件の訓練を実施

1. 国と地方公共団体の共同訓練：25都道県29市区町29件を実施済み

	日時	場所	備考
1	H29.3.17	秋田県男鹿市	
2	H29.6.4	山口県阿武町	
3	H29.6.9	山形県酒田市	
4	H29.6.12	新潟県燕市	
5	H29.6.12	福岡県吉富町	
6	H29.7.10	愛媛県西条市	
7	H29.7.14	富山県高岡市	
8	H29.7.29	茨城県龍ヶ崎市	
9	H29.8.19	鳥取県琴浦町	
10	H29.8.24	熊本県上天草市	
11	H29.8.26	三重県津市	
12	H29.8.30	石川県輪島市	
13	H29.9.1	北海道滝川市	
14		・岩見沢市	

	日時	場所	備考
15	H29.9.17	兵庫県西宮市	
16	H29.9.27	秋田県由利本荘市	
17	H29.10.6	宮城県東松島市	
18	H29.10.10	青森県深浦町	
19	H29.10.17	山梨県山梨市	
20	H29.10.24	静岡県島田市	
21	H29.10.25	長野県軽井沢町	
22	H29.11.14	福井県福井市	
23	H29.11.22	長崎県雲仙市	(注)
24	H29.12.1	福岡県福岡市	
25	H29.12.9	香川県高松市	
26	H30.1.10	鹿児島県徳之島町	
27	H30.1.22	東京都文京区	
28	H30.6.10	福岡県春日市	
29	H30.6.10	群馬県渋川市	

(注) 国民保護訓練として、ミサイル落下後における県市、警察、消防、自衛隊等の訓練も実施

2. 地方公共団体単独の訓練：38都道府県153市区町村435件を実施済(把握分)

3. 令和元年度 国民保護共同訓練の実施について

(1) 訓練の実施概要

- ◇ 共同訓練(国と地方公共団体が共同して行う訓練)を 26回 実施予定
(実動訓練7回、図上訓練18回、実動・図上訓練1回)

(2) 訓練の実施予定

(ア) 実動訓練 (7 県)

福島県、茨城県、群馬県、千葉県、山梨県、静岡県、和歌山県

(イ) 図上訓練 (18 都道府県)

北海道、宮城県、秋田県、山形県、栃木県、東京都、富山県、
福井県、長野県、愛知県、大阪府、奈良県、山口県、徳島県、
香川県、福岡県、熊本県、大分県

(ウ) 実動訓練及び図上訓練 (1 県) (注)

岩手県

(注) 実動訓練と図上訓練を接続させた一体型の訓練

※) 訓練の実施時期及び詳細については検討中

4. 国重点訓練等の実施結果について（概要・訓練風景・成果と課題）

平成30年度国民保護共同訓練（国重点訓練）について

（1）愛知県国民保護共同実動訓練

（2）静岡県国民保護共同図上訓練

（3）熊本県国民保護共同図上訓練

※ 上記以外の訓練の実施結果は「国民保護ポータルサイト（<http://www.kokuminhogo.go.jp/>）をご参照ください。

(1) 平成30年度 愛知県国民保護共同実動訓練【訓練概要】



目的	ラグビーワールドカップ2019を見据え、開催会場での実動機関の初動対処能力向上、関係機関相互の連携強化、県・市の各対策本部等の連携及び国民保護に関する啓発を目的とする。
時期	平成31年1月11日(金) 12:30~16:00
場所	豊田スタジアム、豊田市役所、豊田厚生病院 トヨタ記念病院、豊田市民文化会館
広報	公開
訓練想定	豊田スタジアムにおいて、観客席に仕掛けられた不審物が爆発し多数の死傷者が発生。その後、観客席において2回目の爆発が発生した。 現場から逃走中の犯人グループは、検問所付近で、発砲のうえさらに逃走。同じ頃、新たな不審物が豊田スタジアム内で発見された。
主要訓練項目	① 初動対処訓練(救出救助、検知、応急救護、爆発物処理、避難誘導等) ② 対策本部運営訓練(情報収集、現地調整所、法定手続き等) ③ 医療救護訓練 ④ 救援訓練(避難施設運営等) ⑤ 合同対策協議会運営訓練
訓練の特徴	・国際的スポーツイベント開催時の事案発生を想定した国民保護共同実動訓練 ・Eテロを想定した、救出時の現場応急救護対応 ・外国人に対する避難誘導・医療救護
参加機関	内閣官房、内閣府、警察庁、消防庁、厚生労働省、国土交通省、防衛省・自衛隊、海上保安庁、愛知県、愛知県警察、豊田市、豊田市消防本部、豊田加茂医師会、日本赤十字社愛知県支部、豊田スタジアム、一般社団法人愛知県バス協会 等

(1) 平成30年度 愛知県国民保護共同実動訓練【訓練風景】

① ラグビーワールドカップ2019開催時の事案発生を想定した訓練(豊田スタジアム)



簡易検知(警察)



被災者の救出



ターニケットを活用した応急処置



ショートピックアップ場所からの搬送



応急救護活動(医療救護班)



現地調整所会議



医療機関へのヘリ搬送



被災者搬送(自衛隊)

② 豊田スタジアム以外における訓練



市役所における対策本部運営



医療機関における医療救護



警察及びDMORTによる遺族等支援



避難施設における外国人支援

(1) 平成30年度愛知県国民保護共同実動訓練概要【成果と課題】

○ 主な成果

◇ 初動対応

被災者の救出救助、検知、避難誘導等について、警察、消防、自衛隊の各機関同士が臨機応変な連携を実施。また、現地調整所においては、市役所が中心となり、各機関の活動調整をすることで、効率的な活動を実施。

◇ 対策本部運営

市役所で対策本部を実装し、発災現場からの情報収集に基づく意思決定を行う等、実運用に即した訓練を展開。

◇ 医療機関による被災者の受け入れ

近隣で多数の傷病者が発生する災害が発生した際の、院内対策本部の設置手続き、情報収集、受け入れ準備、爆傷特有の病態に配慮した医療処置の実施などについて確認。

○ 課題

◇ 被害軽減化のための対応能力の向上

救命率を高め、被害の軽減を図るために、多種多様な状況を想定した訓練を継続的に行い、対応力を高めていくことが重要。

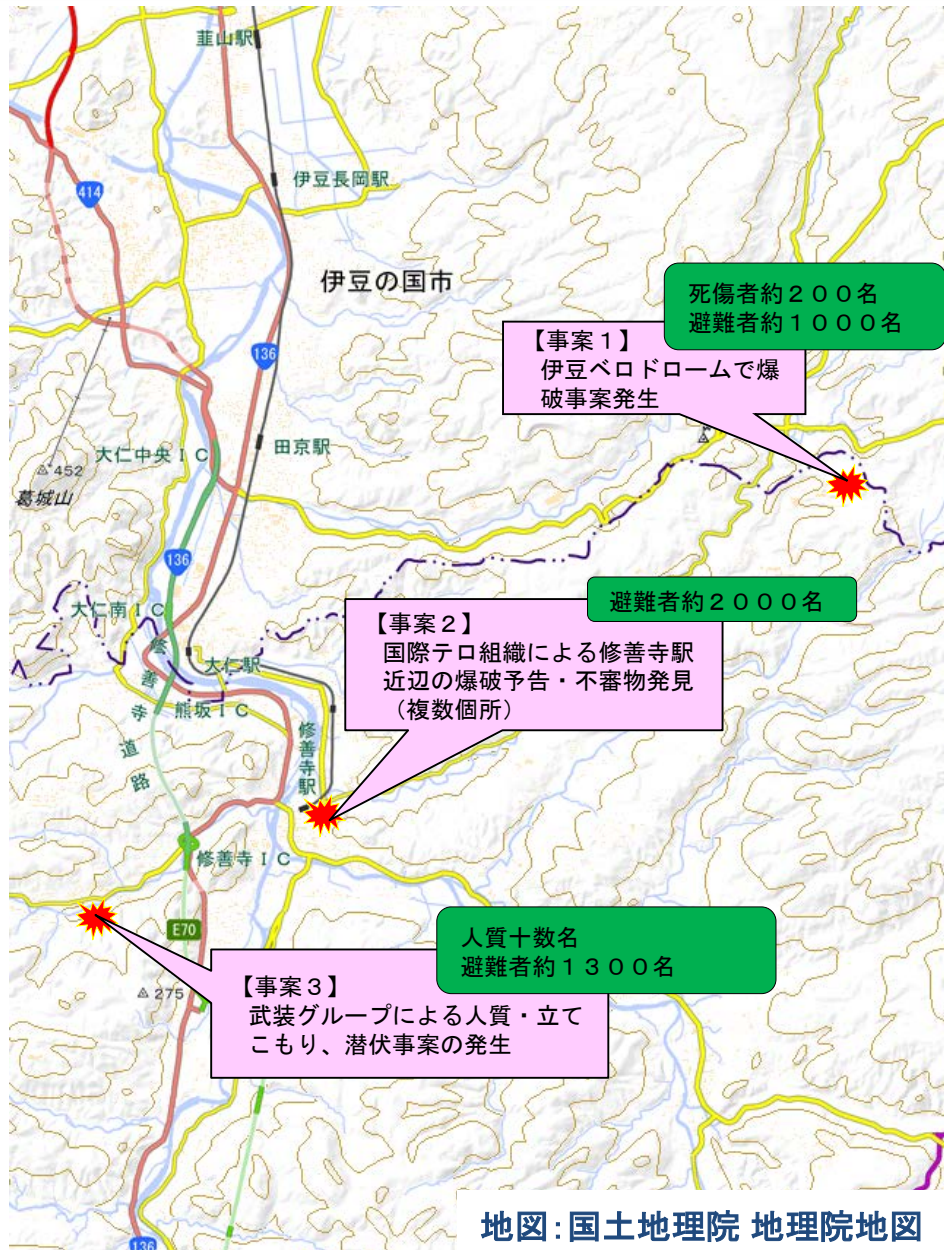
◇ 多数傷病者発生時の医療救護体制の充実

多数の傷病者が発生する実災害を想定し、様々な状況に臨機応変に対応できるよう、日ごろから県、医療機関、消防など関係者による連携、役割分担に係る検討が必要。

◇ ブラインド要素を取り入れた訓練の推進

対応能力の高度化に向け、突発事案への対応や対応措置に関する意思決定などについてブラインド要素を取り入れた訓練を一層推進していくことが重要。

(2) 平成30年度 静岡県国民保護共同図上訓練【訓練概要】



目的	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え、大会会場及びその周辺地域での緊急対処事態における国・県・市及び関係機関の初動対処、情報連絡、調整等の各種対応力向上並びに関係機関の相互連携強化を図ることを目的とする。
時期	平成30年11月20日(火) 13:00~17:10 (事前説明、振り返りを含む)
場所	静岡県庁、伊豆市役所
登載要領	ロールプレイング方式 (シナリオ提示型・一部ブラインド)
広報	公開
訓練想定	国際的スポーツイベント開催中の伊豆ペロドロームにおいて爆破事案により多数の死傷者が生じ、国際テロ組織による犯行声明とともに、新たに爆破予告が出される。 爆破予告のあった地域では、爆発物と見られる不審物が複数発見されるとともに、付近で車両を乗り捨て、銃器等で武装した逃走犯が人質をとって立てこもる事案に発展し、さらに別の武装した逃走犯らは、付近のいずれかに潜伏する事案へと展開する。
主要訓練項目	① 初動対応要領(現地調整を含む)の確認 ② 関係機関の情報共有・調整要領の確認 ③ 事案の進展に応じた県市対策本部の対応要領の確認 ④ 緊急対処事態対策本部の設置・運営要領の確認
訓練の特徴	・ オリンピック会場となる大規模集客施設における複数爆破事案への初動対応及び現地調整 ・ 多数の死傷者、避難者を生じる事案が複数発生した場合の関係機関の調整
参加機関	内閣官房、内閣府、警察庁、消防庁、国土交通省、海上保安庁、防衛省、自衛隊、 静岡県、伊豆市、伊東市、伊豆の国市、静岡県警察、大仁警察署、駿東伊豆消防本部、静岡市消防局、静岡県道路公社、伊豆箱根鉄道(株)、伊豆箱根バス(株)、東海自動車(株)、日赤静岡県支部、伊豆赤十字病院、各災害拠点病院、静岡DMAT、静岡DPAT、(公)東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、(財)日本サイクルスポーツセンター等

(2) 平成30年度 静岡県国民保護共同図上訓練【訓練風景】



静岡県対策本部の活動



伊豆市対策本部の活動



伊豆市現地調整所の活動



静岡県対策本部会議



伊豆市対策本部会議



合同対策協議会

(2) 平成30年度 静岡県国民保護共同図上訓練【成果と課題】

○ 主な成果

◇ オリンピックを見据えた各種対応力の向上

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を見据え、大会会場等での緊急対応事態における初動対応、情報連絡、調整等の各種対応力の向上並びに関係機関の相互連携強化等所期の訓練目的、主要訓練項目を達成。

◇ 関係機関間の協力体制構築

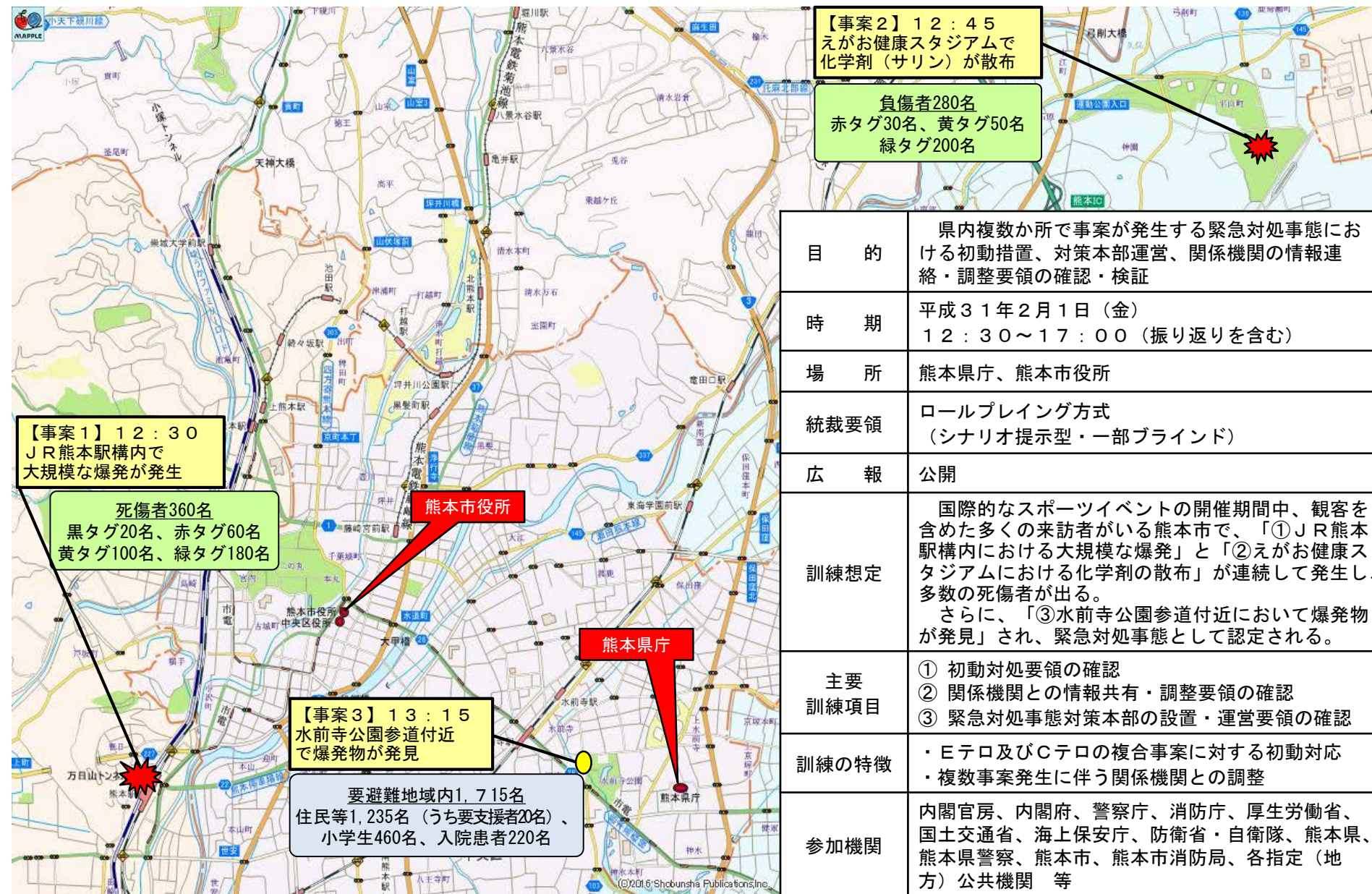
本年はラグビーワールドカップ、来年には東京オリンピックという大規模かつ国家的なイベントの開催を控え、その準備等に大きな教訓が得られるとともに、国、県、市をはじめ、多くの機関が参加し、「顔の見える関係」が醸成され、今後の事態対応、危機管理における連携・協力体制が構築。

○ 今後の課題と対応

◇ 情報の収集・集約・共有

静岡県庁と伊豆市役所、現地調整所の3か所でオペレーションが展開される難易度の高い設定の訓練であったが、特に、情報収集と共有という点では、今後の訓練等においても引き続き、対応力の向上を目指し、研鑽・努力を重ねることが重要。

(3) 平成30年度 熊本県国民保護共同図上訓練【訓練概要】



目的	県内複数か所で事案が発生する緊急処理事態における初動措置、対策本部運営、関係機関の情報連絡・調整要領の確認・検証
時期	平成31年2月1日（金） 12:30～17:00（振り返りを含む）
場所	熊本県庁、熊本市役所
統裁要領	ロールプレイング方式 （シナリオ提示型・一部ブラインド）
広報	公開
訓練想定	国際的なスポーツイベントの開催期間中、観客を含めた多くの来訪者がいる熊本市で、「①JR熊本駅構内における大規模な爆発」と「②えがお健康スタジアムにおける化学剤の散布」が連続して発生し、多数の死傷者が出る。 さらに、「③水前寺公園参道付近において爆発物が発見」され、緊急処理事態として認定される。
主要訓練項目	① 初動対処要領の確認 ② 関係機関との情報共有・調整要領の確認 ③ 緊急処理事態対策本部の設置・運営要領の確認
訓練の特徴	・ Eテロ及びCテロの複合事案に対する初動対応 ・ 複数事案発生に伴う関係機関との調整
参加機関	内閣官房、内閣府、警察庁、消防庁、厚生労働省、国土交通省、海上保安庁、防衛省・自衛隊、熊本県、熊本県警察、熊本市、熊本市消防局、各指定（地方）公共機関 等

(3) 平成30年度 熊本県国民保護共同図上訓練【訓練風景】



熊本県対策本部の活動



熊本市対策本部の活動



熊本県対策本部会議



熊本市対策本部会議



合同対策協議会(県)



合同対策協議会(市)

(3) 平成30年度 熊本県国民保護共同図上訓練【成果と課題】

○ 主な成果

◇ 初動対応要領、関係機関との連携

初動対応（Eテロ、Cテロの複数事案への同時対応）要領と関係機関との情報共有・調整要領の確認、事案の進展に応じた県・市の対策本部における対応や合同対策協議会の設置や運営要領を確認することができ、所期の訓練目的を達成。

◇ ラグビーワールドカップ2019等に向けた対応

ラグビーワールドカップ2019など大規模イベントを控え、緊急対応事態における初動対応、情報連絡、調整等の各種対応能力が強化。また、多数の関係機関が参加したことで、県、市を中心とする「顔の見える関係」が構築。

○ 今後の課題と対応

◇ マニュアルの整備

日頃から組織ごとに緊急対応事態における役割、実際の動きを確認したうえで、マニュアルの精度を向上させていくことが重要。

◇ ブラインド要素を取り入れた訓練の推進

訓練にブラインド要素を取り入れ、各機関・本部間で連携・協議しながら実際に判断を行っていく部分を可能な限り盛り込んでいくことが重要。

【参考】国民保護ポータルサイトについて

内閣官房 国民保護ポータルサイト

<http://www.kokuminhogo.go.jp/>

Cabinet Secretariat Civil Protection Portal Site

内閣官房 国民保護ポータルサイト

Google カスタム検索

検索

文字サイズ

標準

大

English

携帯サイト

ホーム

国民保護概要

弾道ミサイル落下時の行動

国民保護訓練

国民保護研修会

避難施設

国民保護計画・国民保護業務計画

弾道ミサイル落下時の行動について

Jアラート（前）音中に避難。音中に建物の中、又は地下に避難してください。ミサイルが、●●●分経、●●●秒周回落下するものとみられます。音中に避難してください。

メッセージが流れたら 落ち着いて、直ちに行動してください。

- 国外にいる場合 近くの建物の中から地下に避難。
- 建物が無い場合 物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。
- 屋内にいる場合 窓から離れるか、窓のない部屋に移動する。

弾道ミサイル落下時の行動について

サイレン音の再生



新着情報

- 2019年3月13日 **実施訓練** [徳島県において国民保護共同実動訓練を実施しました](#) **NEW**
- 2019年3月12日 **実施訓練** [兵庫県において国民保護共同実動・図上訓練を実施しました](#)
- 2019年3月12日 **実施訓練** [石川県において国民保護共同図上訓練を実施しました](#)
- 2019年3月12日 **実施訓練** [福島県において国民保護共同図上訓練を実施しました](#)
- 2019年3月11日 **実施訓練** [大阪府において国民保護共同実動訓練を実施しました](#)

全ての新着情報を見る

○国民保護概要

- ・事態対処法、国民保護法、基本指針
- ・避難の仕組み、救援の仕組み
- ・武力攻撃事態の類型、緊急対処事態など

○弾道ミサイルへの対処

- ・弾道ミサイル落下時の行動について
- ・弾道ミサイル落下時に取っていたきたい行動の例・Jアラートによる情報伝達について
- ・弾道ミサイル落下時の行動に関するQ&A

○国民保護サイレン

- ・国民保護サイレン音の再生

○国民保護訓練

- ・訓練の概要、成果、記録映像 など

○その他参考資料 等

- ・関係機関の国民保護計画・国民保護業務計画
- ・都道府県別避難施設一覧 など